

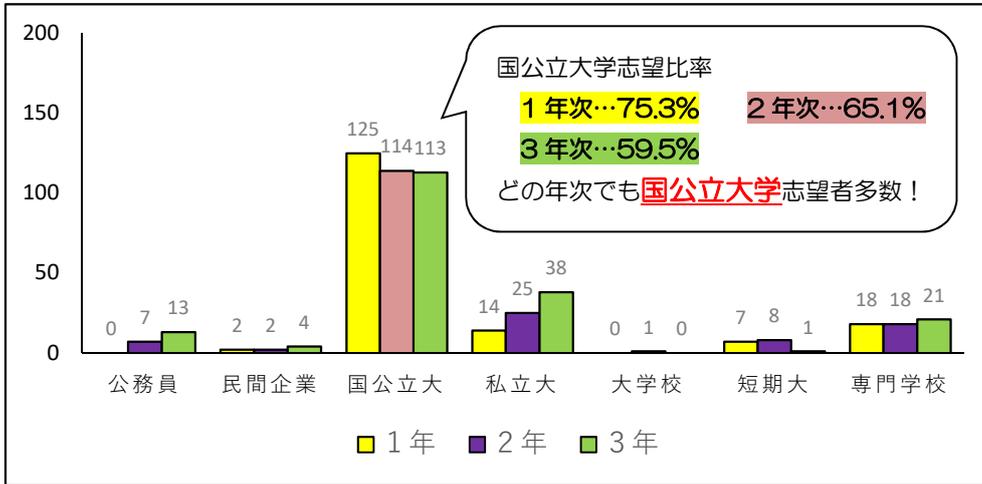
# こちら海老川町進路指導部

## 『こち海老』

2023年6月1日  
第2号

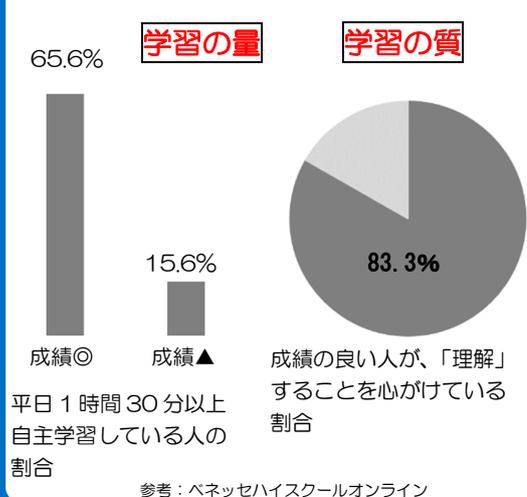
発行  
青森県立田名部高等学校  
進路指導部

### 第1回進路志望調査



左のグラフは4月に実施した進路志望調査の結果です。田名部高校では年に3回進路志望調査を実施しています。日々の勉強はもちろんですが、早いうちから自分の進路に向き合うことも大切です。自分の進路希望から逆算して、今何をすべきか・何が自分に足りないのか考えて行動していきましょう。

### コラム 学力の向上 = 学習の質 × 学習の量



今年度最初の定期考査が終了しました。1年生は、高校入学後初めてのテストで勉強の大変さや難しさを感じた人も多いのではないでしょうか。2、3年生は高校総体間近で部活動との両立はうまくできたでしょうか。テストの成績が伸び悩んでいる人は、一度自分の勉強習慣や勉強方法を見直してみることも大切かもしれません。左のグラフはベネッセの学習に関する調査結果で、毎日自主学習を行っている人は成績が良好、成績が良い人は理解することを心がけた勉強を行っているということが読み取れます。学力を向上させるために大切なことは、学習の「量」と「質」の2点を両立させることだと言われています。テスト前に詰め込み型学習を行うのではなく、部活動や行事で忙しい日々の中でも1日のスケジュールを確認し、学習時間の確保を心がけてみましょう。まず「量」を増やし、勉強することが毎日の習慣になれば、より良い「質」を求めた勉強ができるようになるはず。今日の生活から少し意識して見直してみませんか？

区切るということ

早いものでもう六月です。新年度になって二ヶ月が経ちました。令和五年も十二分の五が過ぎたことになりました。

さて、一ヶ月は新月から新月まで(地球の公転が考慮され、月の公転周期より二日ほど長くなります)です。地球が太陽のまわりを公転する周期を一年としています(暦ではびったりではないので閏年があります)。一週間は月の満ち欠けから一ヶ月を四分割(新月↓上弦↓満月↓下弦↓晦)したものとされています。昔の人は自然や天体をよく観測していたのです。ところで、中国では一ヶ月を三分割して旬が使われました。このように場所によって違うということは、一年とか一ヶ月とか一週間とかは暦のことで、人が決めたものだという事です。どうやら人は、時というものをそのままではうまく把握できないようです。流れる時を区切ることで、時間として認識できるのでしょうか。

始めを決めること。これはゼロを一にすることの重要性から考えても大切なことです。そして同じように大切なのは終わりも決めることです。時間は公平ですが無限ではありません。毎日意識して過ごしましょう。

進路指導部長 奈良 孝史